

年頭のご挨拶

お慶びを申し上げます

町民の皆様、あけましておめでとうございます。
希望に満ちた輝かしい令和四年の初春を、健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
私は、町民皆様の温かいご支援のもと、悠久の歴史と伝統に輝く上ノ国町の町長として光栄なことに五期目を担わせていただき、残任期が半年となる最も重要な年を迎えることになりました。「わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変えろ」という意思を表してくれる」ということを町政執行の基本姿勢とし、地方創生の推進と行財政の適正



上ノ国町長
のぼる
工藤 昇

な運営に加え、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症対策や経済対策を議会、町民の皆様と手を携えて渾身の努力をして参りました。
この間、皆様からいただきました深いご理解と、絶大なるご協力に對しまして心から感謝申し上げます。
さて、過ぎし令和三年を振り返りますと、全世界が新型コロナウイルスに翻弄され、各国ではロックダウンと呼ばれる都市封鎖や渡航禁止措置等の感染拡大防止措置が取られ、現在もその闘いは続いており、昨今で

は新たに変異したオミクロン株が出現するなど未だに終息の兆しが見えていない状況にあります。
日本国内は、第三波、第四波、第五波と続き、この間、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出と解除が繰り返されて、かつてないほど社会経済情勢が見通せない国難とも呼べる状況となっております。しかしながら、現在は国民の約七十七パーセントが二回目の接種を終えた効果が現れて、感染者数の減少や感染症対策の充実からコロナ禍で共存できうる社会経済を構築する取り組みが加速するなど、明るい兆しも見えてきております。北海道内では全国に比べて感染者数が多かったことから、経済の中心である観光業の依存度が高いことも影響し、経済が冷え込んでくると予想されます。
檜山管内では、幸いにも感染者が確認されていない日が続いておりますものの、町としましては、引き続き感染予防対策の徹底を図って参りますので、町民皆様におかれましてはマスクの着用、手洗い、消毒、三密防止などの感染予防対策にご協力をいただきますよう、切にお願いいたします。
経済面では、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界経済は先行き不透明な情勢とな